

製品名: MAP2K2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80817**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	44kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP2K2
別名	MEK2; MKK2; MAPKK2
遺伝子 ID	5605.0
SwissProt ID	P36507
免疫原	大腸菌で発現したヒト MAP2K2 の精製された組み換え断片。

背景

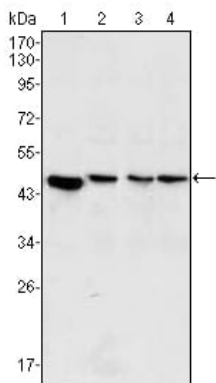
MAP2K2 (別名 MEK2) は、MAP キナーゼファミリーに属する二重特異性タンパク質キナーゼです。このキナーゼは、マイトジェン成長因子シグナル伝達において重要な役割を果たすことが知られています。MAPK1/ERK2 および MAPK2/ERK3 をリン酸化

して活性化します。このキナーゼ自体の活性化は、MAPキナーゼキナーゼキナーゼによるセリン/スレオニンリン酸化に依存しています。この遺伝子の変異は、心不全、知的障害、およびヌーナン症候群に類似した特徴的な顔貌を特徴とする心顔皮膚症候群（CFC症候群）を引き起こします。このキナーゼの阻害または分解は、エルシニア菌感染症および炭疽菌感染症の病因にも関与していることが分かっています。

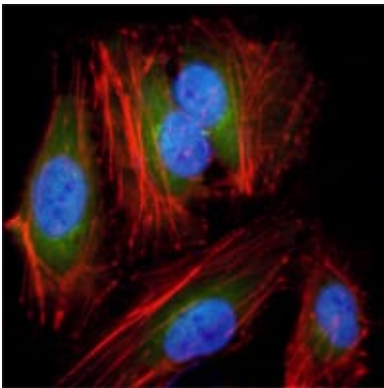
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、PI3K-Aktシグナル伝達経路、MAPKシグナル伝達経路、Jak-STATシグナル伝達経路

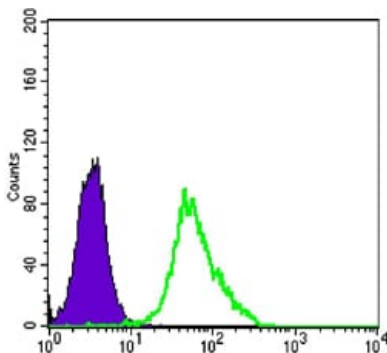
画像データ



PC-12 (1)、Jurkat (2)、Hela (3)、NIH/3T3 (4) 細胞溶解物に対する MAP2K2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



抗 MAP2K2 mAb (緑) を用いた Hela 細胞の免疫蛍光染色。赤：アクチンフィラメントを DY-554 ファロイジンで標識。青：DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



抗 MAP2K2 mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。